

【 昭島市 】 胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--------------------|------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（胃部X線または内視鏡検査） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 32,022 | 33,955 | 65,977 |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：56.2%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,076 | 1,426 | 2,502 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------------|
| 対象年齢以外の実施 | 胃部X線(30～39歳) |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 6.0% | 7.5% | 6.7% |
| 要精検率 | 11%以下 | 14.5% | 10.7% | 12.4% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 80.1% | 86.3% | 83.2% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 19.9% | 13.7% | 16.8% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 3.8% | 0.7% | 2.3% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.56% | 0.07% | 0.28% |

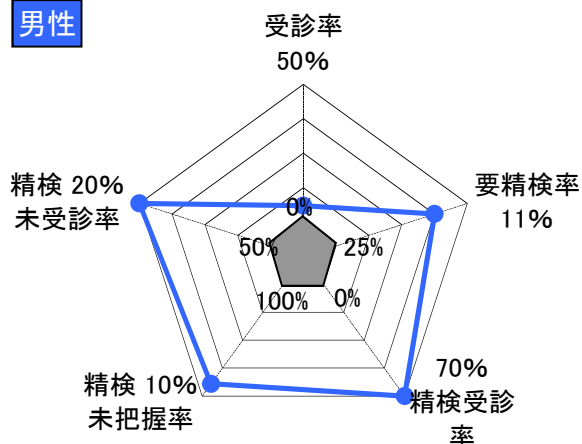
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

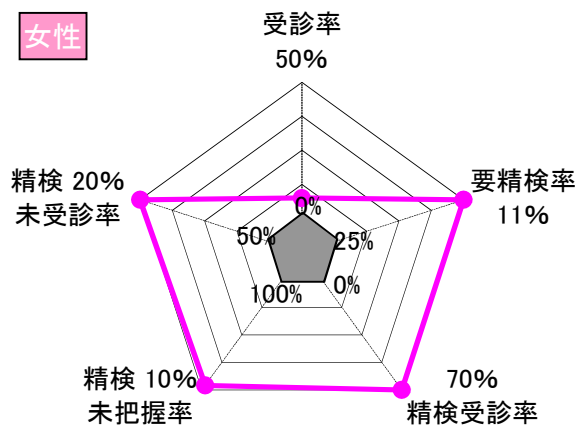
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一步です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 昭島市 】 肺がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 32,022 | 33,955 | 65,977 |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部): 63.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 869 | 995 | 1,864 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施 | 30～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 4.3% | 4.6% | 4.4% |
| 要精検率 | 3%以下 | 3.2% | 1.1% | 2.1% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 42.9% | 36.4% | 41.0% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 57.1% | 63.6% | 59.0% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 3.6% | 0.0% | 2.6% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.12% | 0.00% | 0.05% |

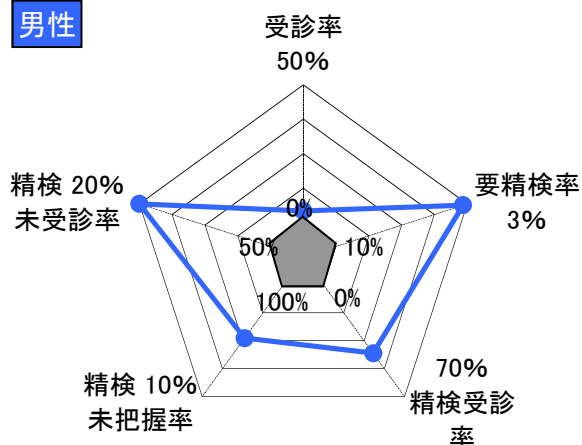
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

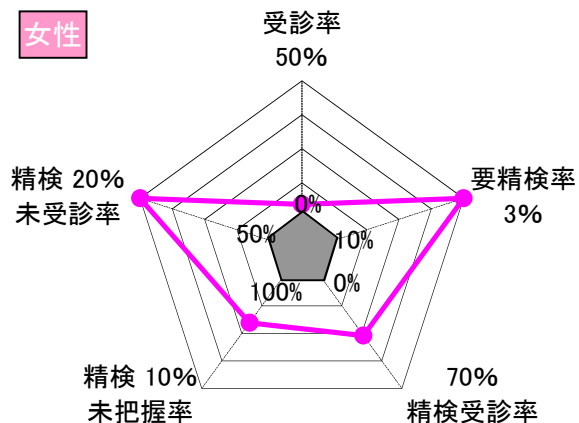
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 昭島市 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 32,022 | 33,955 | 65,977 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,731 | 2,753 | 4,484 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 9.1% | 13.6% | 11.4% |
| 要精検率 | 7%以下 | 9.4% | 8.1% | 8.6% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 62.3% | 64.9% | 63.8% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 37.7% | 35.1% | 36.2% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 5.6% | 1.8% | 3.4% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.52% | 0.15% | 0.29% |

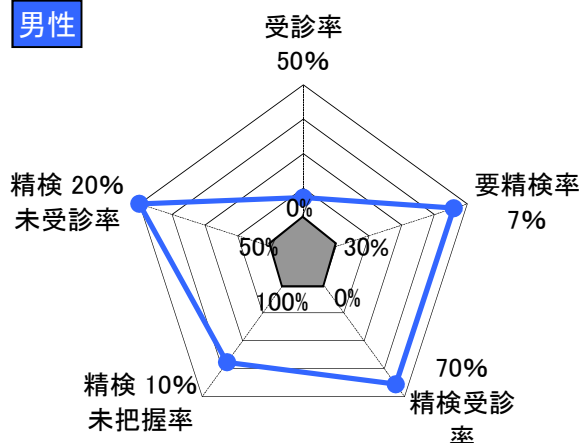
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

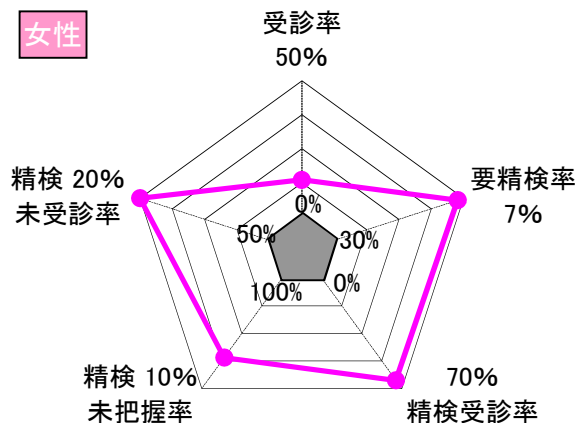
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【 昭島市 】 子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | 毎年 |
| 検査方法（細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 46,938 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：60.4%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 2,862 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|------------|
| 対象年齢以外の実施 | 間隔について毎年実施 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 13.9% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 0.6% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 29.4% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 70.6% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.0% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.00% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

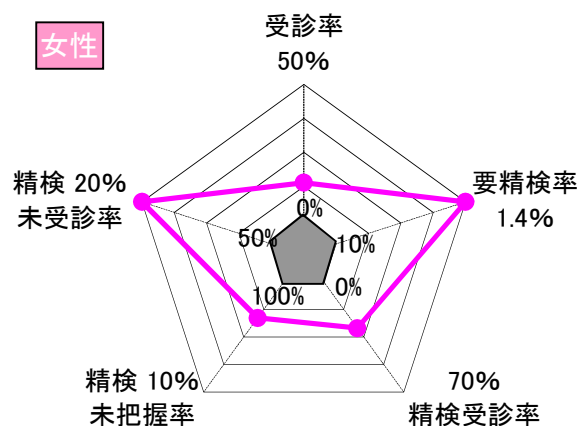
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。



【 昭島市 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 33,955 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.9%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 1,437 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 12.6% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 10.2% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 65.1% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 34.9% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 2.7% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.28% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

